

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成18年1月1日号 (NO. 6)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

新年あけましておめでとうございます。今年も『可動堰回覧板』をよろしく願います。

新年のごあいさつ

現在、新しく河道となる部分の掘削と護岸工事を行っております。本年は、新可動堰本体のⅠ期工事の契約を3月に予定しており、工事が本格的となる年となります。この「可動堰回覧板」にて逐次工事の内容をお知らせしてまいります。今後とも宜しくお願い致します。

雪景色となった大河津可動堰
(平成17年12月12日撮影)



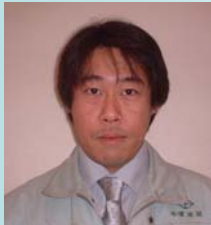
建設監督官 佐藤一也 (さとう かずや)

可動堰関連の工事の監督しております。新年を迎え、より厳しい季節となりました。1月から大河津橋下流の掘削と護岸の工事を行います。事故の無い様に努めますが、工事用車両の出入りも多くなりますので、ご協力をお願いいたします。



現場技術員 馬上一勇 (ばじょう いさむ)

可動堰関連工事の現場技術員をしております。これから気象条件の厳しい中での施工となる為、工事がスムーズに進む様努力して参る所存ですので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



大河津可動堰下流河道
掘削その2工事

(大河津橋より上流側)

株式会社曙建設
現場代理人・監理技術者(兼)
青柳 樹 (あおやぎ みき)

年も明け寒さが厳しく天候不順時期に入りました。当工事の方も大詰めに向かってます。当工事(掘削工・土質改良工・運搬工)については、12月に完了しました。残りわずかではありますが、当現場に於いて安全第一を目標に邁進していきますので、皆様の御理解・御協力の程宜しくお願い致します。



大河津可動堰下流河道
掘削その3工事

(大河津橋より下流側:橋直下)

株式会社中元組
左:現場代理人
山田 修盟 (やまだ のぶあき)
右:監理技術者
田村 建由 (たむら たけよし)

新年を迎え、気持ちも新たに一言ご挨拶申し上げます。当作業所も掘削・土質改良工事も無事終わり、あとは改良土の運搬作業のみとなりました。強風・降積雪等の悪天候及び交通・重機災害等の労働災害に気をつけ無事故無災害で工事を完了できるよう鋭意邁進努力してまいります。(山田)

平成の大事業ともいえる大河津分水路の改修工事に参加し、その一端を担うことは私の人生において大きな名誉と感じています。監督官、隣接工区、他の工事関係者の御指導により、工事を進めて参りましたが、今後の工区の進捗についても見守りつづけていきたいと思っております。(田村)



大河津可動堰下流河道
掘削及び護岸その2工事

(大河津橋より下流側:真ん中)

株式会社水倉組
現場代理人・監理技術者(兼)
藤木 規彰 (ふじきのりあき)

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その2工事に於きましてはみなさんには道路等の混雑等で御迷惑かける事もあるかとは思いますが従事者一同、安全第一に心がけてまいります。交通事故0と地域の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



大河津可動堰下流河道
掘削及び護岸その3工事

(大河津橋より下流側:最下流)

JFE工建株式会社
左:現場代理人
山野辺 邦敏 (やまのべくにとし)
右:監理技術者
尾籠 信一 (おごもり しんいち)

現場代理人を努めさせて頂きます、山野辺です。横浜から工事出張で来ました。お米にお酒に魚にスキーと楽しみがいっぱいです。仕事とプライベートを両立しながら安全最優先で作業を進めていきます。皆様方のご理解、ご協力お願いいたします。(山野辺)

工期が3月までであり、契約時からフル稼働の状況となっています。特に、ダンプトラックの公衆災害《0》を重点に0災で完成検査を迎えたいと思います。(尾籠)

工事の説明

先月号でご紹介しました、大河津橋下流で行われる『大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その2・その3工事』の2工事について、工事内容のご紹介をします。

2工事とも今まで行われてきた高水敷の土砂掘削工事を継続するほか、昨年度実施した護岸工事を下流側へ延伸します。護岸工事にはコンクリート製ブロックを使いますが、植物が生えやすいように土砂を上からかぶせ、基礎になる部分は粗朶(そだ)や木を使った洗掘対策(粗朶沈床^{そだちんしょう}・木工沈床^{もっこうちんしょう})を行います。粗朶とは自然の山に繁殖している雑木の小さいものや枝のことで、これらを束ね格子状に組み、中に石などを詰めたものを粗朶沈床といいます。

処分されるだけの枝木等を有効活用し、また柔軟性があるため地形に馴染みやすく、水中では腐りにくく、すき間には魚や昆虫が住めるなど、自然の材料を巧みに利用した先人の知恵と工夫が込められています。



ベースとなる下格子の組立状況



粗朶を3段敷き込んだ状況



下格子と上格子をつないで粗朶を固定



石を詰めるための柵を作り粗朶沈床完成(この後、川に入れ石詰し沈めて完了)

粗朶沈床の施工手順(概略)

昨年度の護岸工事完成状況



ここに粗朶沈床が

昔話によく出てくる「しば刈り」のしばと粗朶は同じもので、粗朶の活用は里山の健全な管理にもつながっていきます。

目印を付けました

新可動堰がどの辺にできるのか、現地で判りやすくなるように目印を建てました。

新可動堰中心線上の左右岸堤防に黄色い目印を、現在高水敷の掘削を行い新たに低水護岸となるラインを赤い目印で示しています。

近くを通った際には、イメージパースと見比べて新可動堰のイメージをふくらませて頂ければと思います。



完成イメージパース



堤防を降りたところで見ると、こんな感じになります。



『可動堰なんでも電話』を開設しました。みなさんからのご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134(AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://kadouzeki.jp>

信濃川大河津資料館

<http://ohkouzu.jp>